

キャラクター名  
小夜子(R-345)

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス		ワークス	レネガイドビーイングA	カヴァー	古書店店主
	ソラリス			年齢	50前後	性別
オプション						
覚醒	生誕	衝動	恐怖	初期侵食率	34	%
出自	人工生命	経験	秘密	邂逅	秘密	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	1	0			1	行動値	4
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	6	0	0			6	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC			交渉	2	
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品(ピノキオの本)	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
古代種	P	N		
ローザ・ヴァスカヴィル	P 尽力	N 脅威		
貴瀬影汰	P 誠意	N 疎外感		
暁月 真哉	P 庇護	N 不安		
	P	N 猜疑心		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネバー	1	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果: 衝動判定+Lv個 (LvUPなし)								
オリジン:サイバー	1	2	マイナー	至近	自身	-	RB	
効果: 【社会】判定達成値+[Lv*2]								
コンセプト:ソラリス	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果: c値-Lv値(下限7)								
抗いがたき言葉	4	2	Xジャー	視界	単体	交渉	-	
効果: 対象判定D -Lv個								
盲目の羊	7	3	オート	至近	単体	-	-	
効果: 対象判定D-(Lv+1)個 1R1回								
アクセル	4	1	セットアップ	視界	単体	-	-	
効果: 行動値lv*2								
ルーラー	2	6	セットアップ	視界	シーン選択	-	DDイス	
効果: 対象判定D -Lv個 1リコ3回								
絶対の恐怖	1	3	Xジャー	視界	-	交渉	-	
効果: 攻撃力+Lvの射撃攻撃 装甲無視								
タブレット	2	2	オート	至近	自身	-	-	
効果: 射程→視界 シーンLv回								
隠し味	★	-	Xジャー	至近	-	自動	-	
効果: おいしくなる								
声無き声	★	-	Xジャー	視界	-	自動	-	
効果: 思念を伝える。受取も可(相手による)								
効果:								
効果:								

さよこ

約半世紀前に某国、某研究所で製造されたヒューマノイドロボット。女性型。いろいろあって2年前に街の古書店の先代店主だったおじいさんに拾われ、おじいさんの亡くなった今では彼の代わりに店番をしている。"いろいろあって"のいろいろに関して、本人は何一つ覚えていない。覚えているのはおじいさんに拾われ再起動してからの記憶と、力の使い方のみ。胸に刻まれた"R-345"の型番から、おじいさんには「小夜子(さよこ)」と呼ばれており、現在もそのように名乗っている。おじいさんが小夜子へピノキオの本を与え、小夜子を作ったのは魔法使いだと言っていたことから魔法やおまじないに興味を持ち、自身の使えるオーヴァードの力を魔法やおまじないだと言って使用することがある。摂食機能があるが、実際のところ味覚がないため食感を感じし、「おいしい」と発言する事で人間に近付いた気分になっている。理由はそう振る舞うとおじいさんが喜んでくれた為。最も好きな食感は卵焼き。食べた物は体内での物質生成の為の原料になる。分解中はそちらへエネルギーが集中するため眠くなる。N市支部に派遣されてから駄菓子屋にハマっている。

約50年も前にどのような技術を用いて自身のような機械を製造されたのか、自分自身もよくわかっていないし分かつてもしていない。亡きおじいさんの遺した古書店を守り、人のふりをしてひっそり生きていく現状を愛しているため、そんなことは割とどうでもいい。

2年前拾われた当時、機体に問題がないかの調査の際、危険性を示唆され処分されかけたが、UGN日本副支部長：ローザ・パスカヴィルの助力により、彼女の提案でUGN日本支部に所属することで、UGN監視下のもと生存を許可される。このことから、ローザ・パスカヴィルに恩義を感じており、出来る限り協力したいと思っている。また、所属の際、もし自分が制御を失い危険な存在になったときはローザ・パスカヴィルにより破壊される契約をしている。彼女の端末で簡単な操作を行えば、プログラムが作動し爆破する。このことは他のUGN職員には明かしていない。

現在N市支部の駄菓子屋に居座っている。学生のオーヴァードに囲まれており、自分を拾ったおじいさんはこんな気持ちだったのかな…と擬似体験中。学校に行